

最新機器を用いた 視機能評価の新たな展開

第78回 日本弱視斜視学会総会 ランチョンセミナー1
2022年6月17日(金) 12:20~13:20
第1会場 栃木県総合文化センター ホール棟 1階 メインホール

現地開催
LIVE配信



座長
新井田 孝裕 先生
(国際医療福祉大学)

略歴
1984年 北里大学 医学部 卒業
1987年 都立神経科学総合研究所で神経解剖修得
1990年 医学博士・眼科専門医取得、北里大学 医学部眼科助手
1991-93年 米国バージニア州立医科大学(生理学教室)に留学
1996年 北里大学 医療衛生学部 講師
1998年 北里大学 医療衛生学部 助教授
2002年 国際医療福祉大学 保健医療学部教授・視機能療法学科長
2003-05年 NHK放送技術研究所(立体映像部門)客員研究員
2017年 同大学副学長、保健医療学部長兼任 現在に至る

座長のことば

さまざまな検査機器の登場により、医療技術は日々進歩しています。新しい技術に触れることでさらに病態理解の深化と治療戦術の進化をもたらしてきました。最新の医療機器を使いこなすことで、今後もより質の高い眼科診療が生み出されていくことでしょう。本セミナーではお二人の先生から、最新医療機器の魅力や新たな可能性についてご講演いただきます。近畿大学 若山先生からはこれまでの片眼遮閉という視野測定の概念を超えて、両眼開放下で測定するという新しい概念で開発されたアイモ Vifa の特徴と今後

の展開について、国際医療福祉大学 鎌田先生からは OCT を使いこなすためのヒントや、脈絡膜と自律神経の関係を含めた SS-OCT の新たな可能性をお話し頂きます。眼科医の先生方や視能訓練士の皆さんにとって、普段慣れ親しんでいる医療機器をさらに深く知ることでご自身の専門性を高めるための一助となるセミナーになれば幸いです。



演者
若山 曉美 先生
(近畿大学病院)

アイモ vifa による
視機能検査とその魅力

略歴
1986年 国立大阪病院附属視能訓練学院 卒業
近畿大学医学部附属病院勤務
1993年 近畿大学医学部附属病院退職
川崎医療福祉大学 感覚矯正学科 入学
1997年 川崎医療福祉大学 感覚矯正学科 卒業
近畿大学医学部附属病院勤務
2006年 近畿大学医学部附属病院 医療技術主任
2008年 近畿大学大学院医学研究科 システム脳科学科 博士課程
2012年 近畿大学大学院医学研究科 システム脳科学科 博士課程 修了
2012年 近畿大学医学部附属病院 医療技術係長
2017年 近畿大学医学部附属病院 技術科長補佐
2019年 近畿大学病院 科長代理
2022年 近畿大学病院 技術科長 現在に至る



演者
鎌田 泰彰 先生
(国際医療福祉大学)

Swept Source OCT
—今までのエビデンスと
これからの展開—

略歴
2011年 国際医療福祉大学 保健医療学部 視機能療法学科 卒業
2011年 東北大学病院 視能訓練士
2016年 国際医療福祉大学 保健医療学部 視機能療法学科 助手
2017年 日本眼科写真協会 理事
2018年 国際医療福祉大学院 保健医療学専攻
視機能療法学科分野 修士課程修了(保健医療学修士)
2020年 国際医療福祉大学 保健医療学部 視機能療法学科 助教
2021年 日本自律神経学会 評議員
2022年 保健医療学博士(国際医療福祉大学)
2022年 国際医療福祉大学 保健医療学部 視機能療法学科 講師 現在に至る